

## 平成23年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成23年1月28日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 極楽湯  
 コード番号 2340 URL <http://www.gokurakuyu.ne.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 新川 隆丈

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理部長 (氏名) 松本 俊二

四半期報告書提出予定日 平成23年2月14日

TEL 03-5275-0580

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	7,147	3.8	32		78		142	
22年3月期第3四半期	6,886	6.7	3	95.7	5		32	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	13.45	
22年3月期第3四半期	3.08	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	13,049	4,505	33.1	408.24
22年3月期	13,751	4,690	32.9	427.58

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 4,323百万円 22年3月期 4,528百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期		0.00		6.00	6.00
23年3月期		0.00			
23年3月期 (予想)				6.00	6.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

### 3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,000	4.5	300	19.1	150	40.3	68		6.42

(注)当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他 (詳細は、[添付資料]P.3「その他の情報」をご覧ください。)

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

会計基準等の改正に伴う変更 有

以外の変更 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年3月期3Q 11,529,000株 22年3月期 11,529,000株

期末自己株式数 23年3月期3Q 937,675株 22年3月期 937,500株

期中平均株式数(四半期累計) 23年3月期3Q 10,591,412株 22年3月期3Q 10,591,500株

#### 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信[添付資料]P.2「1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1 . 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2 . その他の情報 .....	3
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	3
3 . 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書 .....	6
【第3四半期連結累計期間】 .....	6
【第3四半期連結会計期間】 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新興国を中心とした海外経済の回復や各種政策効果などを背景に企業収益の改善が続く中で、景気は自律的な回復の動きも見られましたが、政治の不安定に加え、長引く円高や株安、政策効果の息切れ、依然として高水準な失業率など、景気の下振れリスクも多く、先行き不透明な状況を抱えたまま推移いたしました。

また、当社を取り巻く環境におきましても、長引く厳しい雇用・所得環境による消費者の節約志向は依然強く、厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、前連結会計年度に出店した3店舗の売上がフルに寄与したことに加え、青果等の物販を強化したことにより、売上高は前年同期に比べ増加いたしました。

一方で、お客様満足度向上のための積極的な店舗改装や修繕、奈良店をフランチャイズから直営化し営業再開するための追加費用、中国での出店に向けた基本計画の立案や人材の確保・研修等の先行投資に伴う費用に加え、エネルギーコスト等が増加したことにより、営業損失となりました。また、原油スワップ取引の終了に伴うデリバティブ評価益の消滅や協賛金収入の減少等による営業外収益の減少、並びに資産除去債務に関する費用として特別損失を計上したことにより、経常損失及び四半期純損失となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間につきましては、売上高7,147百万円（前年同期比3.8%増）、営業損失32百万円（前年同期営業利益3百万円）、経常損失78百万円（前年同期経常利益5百万円）、四半期純損失142百万円（前年同期四半期純損失32百万円）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は13,049百万円となり、前連結会計年度末に比べ701百万円減少しました。これは主に、リース資産を自己所有にしたことによるリース資産の減少835百万円、建物及び構築物（純額）の取得550百万円、敷金及び保証金の減少676百万円等であります。

負債合計は8,544百万円となり、前連結会計年度末に比べ516百万円の減少となりました。これは主に、短期借入金の減少324百万円、リース債務の減少1,070百万円、資産除去債務の増加340百万円、長期借入金の増加448百万円によるものであります。

純資産合計は4,505百万円となり、前連結会計年度末に比べ184百万円の減少となりました。これは主に、利益剰余金の減少206百万円によるものであります。また、自己資本比率につきましては、33.1%となりました。

#### キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は1,281百万円となり、前連結会計年度末に比べ、146百万円減少いたしました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、521百万円となりました。これは主に減価償却費701百万円、貸倒引当金の増加38百万円、利息の支払額89百万円、法人税等の支払額142百万円によるものであります。

#### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、119百万円となりました。これは主に、貸付金の回収による収入59百万円、有形固定資産の取得による支出146百万円によるものであります。

#### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、245百万円となりました。これは主に、短期借入金の純減少額324百万円、長期借入による収入1,550百万円、長期借入金の返済による支出880百万円、リース債務の返済による支出317百万円によるものであります。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期の連結業績予想につきましては、売上高は概ね計画的に推移しているものの、営業利益及び経常利益、当期純利益は計画を下回っております。しかしながら、現時点においては不確定要素が多いことから、平成22年5月14日に開示いたしました連結業績予想に変更はございません。

なお、これらの業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

#### 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

#### 経過勘定項目の算定方法

合理的な算定方法による概算額で計上する方法によっております。

#### 未実現損益の消去

四半期連結会計期間末在庫高に占める当該たな卸資産の金額及び当該取引に係る損益率を合理的に見積って計算しております。

#### 連結会社相互間の債権債務及び取引の相殺消去

##### (連結会社相互間の債権と債務の相殺消去)

当該債権の額と債務の額に差異が見られる場合には、合理的な範囲内で当該差異の調整を行わないで債権と債務を相殺消去しております。

##### (連結会社相互間の取引の相殺消去)

取引金額に差異がある場合で当該差異の重要性が乏しい時には、親会社の金額に合わせる方法により相殺消去しております。

#### 法人税等の算定方法

法人税等の計上は、簡便な方法により計算しております。また、その他影響額の僅少なものについては、一部簡便な方法により計上しております。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

#### 「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益はそれぞれ15,077千円減少し、税金等調整前四半期純利益は121,342千円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,311,752	1,134,920
売掛金	67,609	92,671
たな卸資産	66,906	30,457
繰延税金資産	15,491	24,469
未収還付法人税等	45,227	-
その他	214,678	240,961
流動資産合計	1,721,665	1,523,481
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,303,178	3,752,755
工具、器具及び備品(純額)	115,355	101,482
リース資産(純額)	2,298,901	3,134,893
土地	244,250	244,250
建設仮勘定	99,657	82,555
有形固定資産合計	7,061,343	7,315,937
無形固定資産		
リース資産	22,776	35,180
その他	70,800	80,300
無形固定資産合計	93,576	115,480
投資その他の資産		
投資有価証券	64,592	74,205
繰延税金資産	396,839	289,665
敷金及び保証金	3,017,721	3,694,093
破産更生債権等	87,544	-
その他	694,236	787,904
貸倒引当金	87,544	49,144
投資その他の資産合計	4,173,388	4,796,724
固定資産合計	11,328,309	12,228,143
資産合計	13,049,974	13,751,625

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
買掛金	314,722	266,182
短期借入金	500,000	824,500
1年内償還予定の社債	84,000	84,000
1年内返済予定の長期借入金	1,178,320	957,500
未払金	253,791	296,077
未払法人税等	114	85,711
リース債務	2,345,883	411,572
賞与引当金	24,238	45,115
その他	620,983	606,978
流動負債合計	5,322,055	3,577,638
<b>固定負債</b>		
社債	96,000	138,000
長期借入金	2,518,020	2,069,300
リース債務	40,105	3,044,658
退職給付引当金	52,337	45,085
資産除去債務	340,977	-
その他	174,760	186,568
固定負債合計	3,222,201	5,483,613
負債合計	8,544,256	9,061,251
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	2,032,626	2,032,626
資本剰余金	2,179,226	2,179,226
利益剰余金	589,396	795,449
自己株式	466,918	466,875
株主資本合計	4,334,330	4,540,426
<b>評価・換算差額等</b>		
その他有価証券評価差額金	10,041	11,684
為替換算調整勘定	529	-
評価・換算差額等合計	10,570	11,684
新株予約権	181,957	161,631
純資産合計	4,505,717	4,690,374
負債純資産合計	13,049,974	13,751,625

(2) 四半期連結損益計算書

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	6,886,229	7,147,081
売上原価	6,374,178	6,679,537
売上総利益	512,050	467,543
販売費及び一般管理費	508,842	500,211
営業利益又は営業損失( )	3,208	32,667
営業外収益		
協賛金収入	69,866	22,190
その他	61,715	41,534
営業外収益合計	131,581	63,724
営業外費用		
支払利息	108,797	101,126
その他	20,021	8,154
営業外費用合計	128,818	109,281
経常利益又は経常損失( )	5,971	78,223
特別利益		
新株予約権戻入益	1,401	423
投資有価証券売却益	167	19,335
固定資産売却益	1,931	-
賞与引当金戻入額	7,068	3,127
特別利益合計	10,569	22,887
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	106,264
投資有価証券評価損	2,109	3,205
固定資産売却損	391	-
固定資産除却損	-	2,708
貸倒引当金繰入額	16,600	38,400
リース解約損	-	18,738
特別損失合計	19,101	169,317
税金等調整前四半期純損失( )	2,559	224,654
法人税、住民税及び事業税	62,619	17,171
法人税等調整額	32,563	99,322
法人税等合計	30,056	82,150
少数株主損益調整前四半期純損失( )	-	142,503
四半期純損失( )	32,616	142,503

【第3四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)
売上高	2,311,027	2,331,678
売上原価	2,193,781	2,181,212
売上総利益	117,245	150,465
販売費及び一般管理費	155,495	156,265
営業損失( )	38,249	5,799
営業外収益		
協賛金収入	35,961	7,142
その他	17,433	15,135
営業外収益合計	53,395	22,278
営業外費用		
支払利息	37,344	31,276
その他	4,303	176
営業外費用合計	41,648	31,452
経常損失( )	26,502	14,974
特別利益		
新株予約権戻入益	16	423
投資有価証券売却益	-	19,264
特別利益合計	16	19,687
特別損失		
固定資産売却損	391	-
投資有価証券評価損	2,109	2,452
貸倒引当金繰入額	7,000	-
リース解約損	-	18,738
特別損失合計	9,501	21,190
税金等調整前四半期純損失( )	35,987	16,476
法人税、住民税及び事業税	1,987	5,716
法人税等調整額	379	5,033
法人税等合計	2,366	682
少数株主損益調整前四半期純損失( )	-	17,159
四半期純損失( )	33,620	17,159

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失( )	2,559	224,654
減価償却費	631,838	701,697
退職給付引当金の増減額( は減少)	10,306	7,251
貸倒引当金の増減額( は減少)	16,600	38,400
賞与引当金の増減額( は減少)	19,301	20,877
受取利息及び受取配当金	11,086	8,520
支払利息及び社債利息	113,011	101,126
デリバティブ評価損益( は益)	16,927	-
投資有価証券評価損益( は益)	2,109	3,205
投資有価証券売却損益( は益)	-	19,335
リース解約損	-	18,738
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	106,264
売上債権の増減額( は増加)	44,426	24,871
たな卸資産の増減額( は増加)	10,933	36,449
未収消費税等の増減額( は増加)	40,128	47,089
未払消費税等の増減額( は減少)	33,073	46,352
仕入債務の増減額( は減少)	32,517	48,540
その他	22,089	33,941
小計	738,890	750,016
利息及び配当金の受取額	4,947	2,712
利息の支払額	98,333	89,281
法人税等の支払額	89,991	142,366
営業活動によるキャッシュ・フロー	555,512	521,081
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	10,000	90,000
定期預金の払戻による収入	-	60,000
有形固定資産の取得による支出	809,749	146,208
有形固定資産の売却による収入	59,991	-
投資有価証券の取得による支出	49,997	-
投資有価証券の売却による収入	9,599	28,511
差入保証金の差入による支出	148,056	21,958
差入保証金の回収による収入	44,878	14,546
貸付けによる支出	470,000	37,000
貸付金の回収による収入	275,866	59,631
建設協力金の支払による支出	128,000	-
その他	12,552	12,734
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,212,913	119,741

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(は減少)	298,900	324,500
長期借入れによる収入	1,274,000	1,550,000
長期借入金の返済による支出	571,000	880,460
社債の償還による支出	-	42,000
リース債務の返済による支出	331,539	317,446
リース解約等に伴う支払額	-	140,095
配当金の支払額	42,683	62,223
その他	42,908	28,899
財務活動によるキャッシュ・フロー	584,768	245,625
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	8,883
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	72,632	146,831
現金及び現金同等物の期首残高	938,616	1,134,920
現金及び現金同等物の四半期末残高	865,983	1,281,752

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（開示の省略）

セグメント情報、その他の注記事項、個別情報、補足情報等は第3四半期決算短信における開示の必要性が大きくないと考えられるため開示を省略しております。